



発行：京都府立峰山高等学校広報担当 所在地：京都府京丹後市峰山町古殿 1185 番地
TEL:0772-62-1012 Fax:0772-62-1013 www.kyoto-be.ne.jp/mineyama-hs/

平成28年度 入学式



少し寒さが舞い戻った、4月11日(月)、平成28年度入学式が行われました。新入生274名(本校239名、分校35名)が入学許可宣言を受け、希望を胸に高校生活の第一歩を踏み出しました。

校長は式辞で、「春風や闘志いだきて丘にたつ」という高浜虚子の俳句を引用し、新しく入学した生徒たちに「私はこれから厳しく困難な目標に立ち向かい、挑戦していくのだ」という強い意志を持つことの大切さを示し、そして、「失敗を恐れず挑戦を続ける強い心を持ち、しっかりと志をたてて高校生活を送るという二つの具体的な行動を切望する。」と述べました。新入生を代表して、吉竹 歩さん(久美浜中出身)が、「学校の規則をしっかりと守り、誇りある峰山高等学校の生徒として、その本分を尽くすことを誓います。」と宣誓を行いました。また、在校生を代表して、生徒会長の角江 孝一さん(峰山中出身)が、「高校生活では自分勝手な行動を慎み、いつも支えてくれている方々に感謝の心を持って欲しい。そして、一日一日を充実させて、最高の学校生活を送りましょう。」と新入生に歓迎の言葉を送りました。

新入生歓迎クラブ紹介

4月13日(水)に、新入生歓迎クラブ紹介が行われました。生徒会長の挨拶で幕を開け、生徒会執行部が作成した学校紹介ビデオで峰高祭や球技大会の様子を鑑賞しました。その後、各クラブ員が自分たちのクラブ活動を個性豊かに紹介し、会場は大変盛り上がり、楽しい時間となりました。新入生は約一週間、クラブ見学や体験入部を行います。

峰山高校には現在、27の部活動・同好会があります。文武両道のよき校風があり、峰高生の大半がクラブに入部しています。是非とも、多くの新入生が自分に合ったクラブを見つけ、充実した高校生活を送ってほしいと思います。



☆新入生歓迎クラブ紹介①⇒

アカデミックミネ特別授業 ～東日本大震災から5年～

東北地方太平洋沖地震の発生から5年目となる3月11日(金)の午後、東日本大震災をテーマにした特別授業を行いました。2012年3月に始まり今年で5回目となるこの授業では、大学の先生、被災地支援に取り組む市内の方、被災地に行った生徒や教職員の話を聞いて、震災や復興、被災地支援活動について学んできました。今回は、本校生徒がボランティアとして参加した「ふくしま・子どもキャンプ in 京丹後宇川」、若者の力で丹後町袖志の棚田を再生する取組、そして今年で4年目となる生徒会による被災地支援活動「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」の3つのお話を聞きました。ボランティア活動がしてみたい、丹後や被災地のために何かしたい...と考えている生徒にとって、一歩を踏み出すための幾つものヒントと勇気がもたらされた授業になりました。(生徒の学年は3月時点のものです)

 畑中景子さん(京丹後市) 「ふくしま・子どもキャンプ in 京丹後宇川」	 深田和幸さん(京丹後市) 「ふくしま・子どもキャンプ in 京丹後宇川」	 尾江那月さん(2年・網野中出身) 井上桃花さん(2年・網野中出身) 堀江瑞希さん(2年・宇川中出身) 「ふくしま・子どもキャンプにボランティアで参加して」
 堀江亮平さん(京丹後市) 「若者の力で地域を活性化 ～袖志の棚田の再生～」	 山川哲教論(理科)の実験コーナー 霧箱を使って放射線の飛跡を見る。	 岩手～福島県の地形図 地図上で津波の高さと津波被害の状況がわかる。
 木村信元司書(図書館司書) 「震災と復興、本の力、図書館の役割」	 角江孝一さん(生徒会長・2年・峰山中出身) 「陸前高田市図書館 ゆめプロジェクトについて」	 トークタイム 講師さんを囲んで自分の考えや想いを語り合いました。



☆新入生歓迎クラブ紹介②⇒

教育方針

教育スローガン(校是)

「求めてやまじ 高き理想を！」

教育方針

真知に徹す

〈真理を導び、その探究に徹する態度の育成を目指す〉

情操の洗練

〈情操の涵養に留意し、円満な人格の完成を目指す〉

健康の保持増進

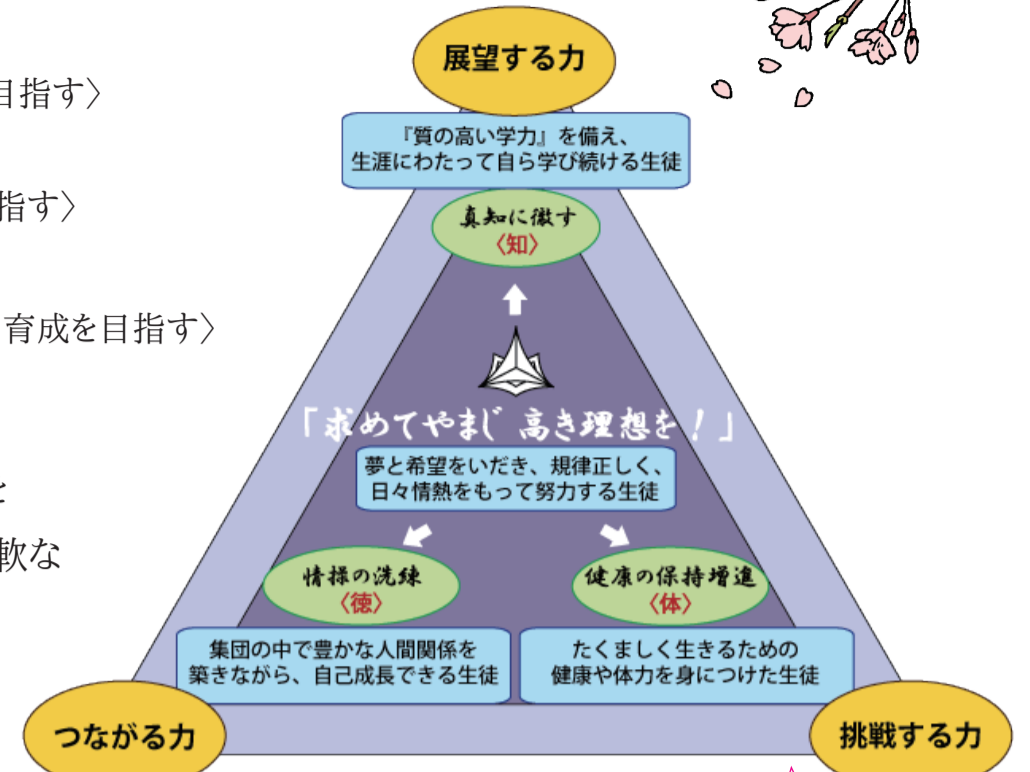
〈保健と鍛錬に努め、心身ともに健やかな人間の育成を目指す〉

教育目標

心身ともに健康で、礼儀と規律を重んじ、人を思いやり、郷土を愛するとともに、高い志と柔軟な国際感覚をもって自己を高め、創造力豊かに社会に貢献できる人間を育てる。

目指す生徒像

- ◇ 夢と希望をいだき、規律正しく、日々情熱をもって努力する生徒
- ◇ 「質の高い学力」を備え、生涯にわたって自ら学び続ける生徒
- ◇ 集団の中で豊かな人間関係を築きながら、自己成長できる生徒
- ◇ たくましく生きるための健康や体力を身につけた生徒



三角形の外側は京都府の府旗(赤紫色)、内側は峰山高校の校旗(紺色)をイメージしています。

新入生の抱負

学習について、高校に入ると今まで以上に勉強が難しくなるので、日々の授業を大切にしていこうと思います。高校1年生は新たなスタートであり、これからの進路を左右する時期であると思うので、時間を大切にしていきたいです。一生懸命勉強します。 普通科 女子

高校卒業後、現段階では機械系の仕事に就きたいと思っています。機械を中心とした学習が多いと聞いているので、目指す先は、機械技術者、研究者です。大学、専門学校等へ入学し、大学院を卒業しなければならないので、そのためにも高校でさらに力を伸ばし、夢を実現できるように頑張りたいです。 産業工学科 男子

充実した日々生活をおくりたいと思っています。それはただ楽しいだけではなく、勉強に、行事にしっかりと取り組んでいくことが充実しているといえると思います。 普通科 男子

私が一番やりたいこと。それは行事です。特に文化祭で、中学校ではなかったことだからです。クラスで歌ったり、踊ったり、劇をしたりして、賞を決めたりワクワクすることがすごく楽しみです。初めてのことがたくさんですが、楽しい高校生活を過ごしていきたいです。 普通科 女子



アカデミック・インターンシップ

理系大学を目指す生徒に具体的な目標や将来の展望を持たせるため、丹後の企業でのインターンシップを通して大学理系学部出身者の活躍を学びました。まず、3月10日(木)に、大学の教授による講義を聞きました。そして、15日(火)、16日(水)には、日進製作所、積進、タンゴ技研に協力いただき、企業実習を体験しました。17日(木)にはNPO法人北海道宇宙科学技術創成センター理事 植松努氏による講演を丹後織物福祉センターにて、聴かせていただきました。この取組では、丹後機械工業協同組合様の協力をいただきました。

企業から見た大学での研究の意味

2年5・6組の生徒を対象に、京都工芸繊維大学教授の西村寛之先生より「企業から見た大学での研究の意味」というテーマで講義をしていただきました。地下を通るパイプ管を題材に、実際に企業で働く中で問われる問題点を解決するために、大学での研究の意義と、高校の授業の重要性について話していただきました。さまざまな研究をする上でいかに基礎・基本そして積み重ねが大切であるか理解できました。



進路実現を目指して

3月15日(火)に、看護医療系の大学や専門学校から講師の先生を招き、医師や看護師、臨床検査技師、薬剤師などの仕事や、それぞれの学校での学習内容、受験対策、そして今後の高校生活の心構えなどについて説明していただきました。生徒は自分の興味のある講座に分かれて、講師の先生の話に熱心に聞いたり、質問をしたりしました。学んだことを今後に活かし、自分の夢の実現に向けて努力してくれることを願います。

合格体験談を聞く会

3月18日(金)に、「合格体験談を聞く会」を行いました。この春卒業し、国公立大学、私立大学に進学予定の5名が、勉強と部活動の両立や勉強方法、それぞれの大学を選んだきっかけなど自分自身が体験したことを失敗談も交えながら先輩に語ってくれました。在校生は真剣な眼差しで先輩の話聞いていました。進路実現に向けて頑張ってくれることを期待します。

